

比較構文《más～de lo que》について

スペイン語がある程度できるようになったら使いたくなるのが比較を表す文章です。人というものは無意識に比較をしてしまう性質を持っています。そのくせ、いざ自分が他人と比較されるとなるとあまり気分がよくないものですね。今回扱う比較の構文は、文法的に言って、単文ではなく複文です。ですから、スペイン語の中級者が挑戦すべき表現なのです。

通常、比較構文では、比較される項目は1つです(以下の例文では赤字の部分が比べられています)。

Yo tengo más mangas que **tú**.

僕は君よりたくさん漫画を持っている。

※(「マンガ」はスペイン語になっています。ただし、el mangaと男性形です)

Yo **te** quiero mucho más que **a ella**.

俺は彼女より君のことをずっと愛してるよ。

Hoy me encuentro mejor que **ayer**.

今日は昨日より体調がよい。

このように比較される語は、主語であったり、目的語であったり、副詞であったりと様々です。動詞を比較することもできます。

Ella **trabaja** más que **estudia**.

彼女は勉強するよりもむしろ仕事をしている。

この文ではestudiaとtrabajaという2つの動詞が比較されています。

では、もう少し後半部分を複雑にして、「私が思っていた」を入れてみましょう。例として、「私の彼は私が思っていたより賢い」という文を作ってみましょう。

Mi novio es más inteligente que yo creía.

私の彼は思っていたより賢い。

この文は、現代のスペイン語では言いませんが、必ずしも間違いではありません。実際、昔のスペイン語ではこのような構文を使っていました。しかし、中世より新しい構文が発達して現代のスペイン語では次のように言います。

Mi novio es más inteligente **de lo que** yo creía.

私の彼は思っていたより賢い。

この文にはポイントが二つあります。一つは、構文の前半部と後半部をつなぐのにこれまでの《que》ではなく、《de》を使うことです。もう一つは、後半の比べられる要素が直接《de～》の後ろに来るのではなくて、《lo que》という関係代名詞を伴うことです。この場合の関係代名詞は先行詞がない中性のものです。例えば、

No entiendo **lo que tú dices**.

君の言うことがわかりません。

の《lo que tú dices》(君の言うこと)と同じものです。つまり、「私が思っていたこと」(lo que yo creía)と比べて「より賢い」(más inteligente)ということです。文法的には、Comparativa Relativa (関係節比較構文)と呼ばれるのですが、本誌では「デロケ構文」(または、「デロケ比較」)と呼んでおきましょう。

「デロケ構文」の後半部には、〈creer〉、〈pensar〉、〈imaginar〉、〈esperar〉、〈parecer〉などが使われます。これらは「挿入動詞」(verbo parentético)と呼ばれ、通常、後に目的語の《que～》を伴う動詞です(Pienso que～)。意味的に「意見動詞」と言ってもよいでしょう。

それでは、「デロケ構文」の例をどうぞ。

La torre estaba más lejos de lo que parecía.

タワーは思ったよりも遠くにあった。

He sacado mejores notas de lo que esperaba.

私は期待したよりもよい成績を取った。

Este nuevo smartphone es mucho más útil de lo que parece.

この新しいスマホは見かけよりずっと使える。

ここまでの「デロケ構文」では関係代名詞《que》に付く定冠詞は中性の《lo》でした。通常は《lo que》と中性の例を見かけることが多いかも知れませんが、男性形や女性形の例もあります。

Estudiar español supone más ventajas de **las que** usted imagina.

スペイン語を勉強することはあなたが想像するより多くの利点がありますよ。

この例文では、比較の《más》が名詞《ventajas》に係っています。この場合は通常、定冠詞はその名詞の性数に一致します(ventajas → las)。男性形の例も見てください。

Había más matriculados de **los que** esperaba.

期待したよりもたくさんの受講生がいた。

このように《más》が名詞に係る場合、その名詞の性数に関係詞の冠詞は一致します。実際には一致しない場合(de lo que esperaba)もあるのですが、ネイティブは一致する方を選ぶようです。

最後に、後半の動詞が「挿入動詞」ではないケースも見てください。

Ella gasta más dinero **del que** gana.

彼女は稼ぐよりもたくさんお金を浪費する。

《del que》とここでは男性単数の定冠詞《el》が使われています。そして、その後には名詞の《dinero》が省略されているのです。つまり、

Ella gasta más dinero del (dinero) que gana.

と考えられます。

「デロケ比較」を使うとますます表現の幅が広がりそうですね。それでは今回はこれくらいで。¡Hasta la vista!

仲井 邦佳



仲井 邦佳

なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。

京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。

著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語 一文法と演習一』(共著、同学社)などがある。